

「惣利平成龍保存会」^{じゆ}龍おどり

博多どんたく港まつりに出場



▲沿道の観客が見つめる中、堂々と演舞を披露

5月4日、福岡市で開催された第64回「博多どんたく港まつり」のパレードに惣利平成龍保存会が出場しました。

同会は、白水池に龍が住んでいたという伝説にちなみ、「龍おどり」を伝統文化として残し、地域住民の連携と地域発展のために活動しています。

出場は今年で9回目。当日は、手作りの赤い龍と白い龍を見事に操り、観客を魅了しました。

年に1度の演奏会

市少年少女合唱団第28回定期演奏会



▲会場いっぱいに歌声を響かせる子どもたち

4月27日、ふれあい文化センターで同合唱団の定期演奏会が開催されました。

1部は合唱の元気な明るい歌声、2部はア・カペラの洗練された美しい歌声、3部は表現力豊かなミュージカルを披露。完成度の高いステージに、来場者からは惜しめない拍手が贈られ、「澄んだ歌声に癒された」「一生懸命歌う姿に感動した」といった感想が寄せられました。

熱中症対策会議を開催

関係機関が連携し、熱中症を防ぐ



▲現状や対策について意見交換

5月13日、いきいきプラザで熱中症対策会議を開催しました。この会議は、市、消防本部、市と連携協定を締結している企業で構成。市民が熱中症の正しい知識を持ち、予防のための行動ができるよう、連携して対策に取り組むものです。熱中症による救急搬送は高齢者が約半数を占め、屋内で発症するケースも多いことから、地域での見守りや啓発の重要性などをあらためて確認しました。

WTTユースコンテナー^{カンヌン}江陵

卓球の国際大会での好成績を市長に報告



▲市長(左)と西尾さん

5月12日、西尾友利さん(春日原小学校3年)が井上市長を訪問し、3月に韓国で開催された同大会で「U-11女子シングルス優勝」「U-13女子シングルス第3位」の好成績を納めたことを報告しました。

市長は、「これからも上を目指して励んでください。また次の報告を期待しています」と述べ、西尾さんは「7月の全国大会で優勝し、将来はオリンピックで金メダルを取りたい」と力強く夢を語りました。

市・大塚製薬(株)包括連携事業

子どもの健康セミナーを開催



▲命を守るための知識を学ぶ

5月24日、総合スポーツセンターで、親子向け講座「学ぼう!子どもの健康!」を開催し、約60人が参加しました。

熱中症の正しい知識と対策や、子どもの目と脳のつながりについての講演や、視力の低下を防ぐ体操など実施。熱中症に関するクイズコーナーでは、小学生も積極的に手を上げて回答し、楽しみながら実践のための学びを深めました。

スローガン「信炎～炎のように心を一つに～」

春日西中学校星雲体育祭



▲全員リレーで障害物を飛び越える3年生

5月18日、市内の全6中学校で体育祭などが行われました。春日西中学校では、3ブロックに分かれ、棒引きや大縄飛び、ブロック演技など多くの種目でチーム一丸となって競い合いました。

体育祭が円滑に進行するよう、放送係や記録係、用具係などの生徒たちも活躍。保護者や地域の皆さんの声援の中、スローガンのように一人一人が協力し、体育祭を盛り上げていました。

★表紙関連

県、春日市、大野城市、那珂川市の共催

令和7年度県総合防災訓練を実施

5月25日、県総合防災訓練が行われ、県、3市、消防本部、自衛隊、医療機関など約1,200人が参加しました。これは、災害時における県や市、防災関係機関との連携強化や防災技術の向上、県民の防災意識の向上などを目的としたものです。

当初、春日公園での地震・大雨体験や展示なども予定されていましたが、前日の悪天候で中止となり、梶原運動広場(那珂川市)のみでの実施となりました。

訓練は、「1時間に約130ミリの記録的短時間大雨により浸水被害などが発生した」とする風水害と、「マグニチュード6.9、最大震度6強の直下型地震により家屋の倒壊や火災などが発生した」とする地震災害を想定して実施。体育館での避難所設置運営訓練や災害対策本部設置運営訓練、土のう工法による水害対応訓練、倒壊家屋・埋没車両からの救出訓練、ヘリコプターによる孤立者救出訓練などが行われました。緊張感のある真剣な訓練の様子を、観覧者は息をのんで見守っていました。



▲倒壊家屋からの救出訓練



▲災害対策本部の設置運営訓練